

多角的視点

人は、それぞれに人生の分岐点となる事があると思いますが、私は、高校二年生の時に、エドワード・デボノの「水平思考の世界」という本と出会ったことが、そのきっかけだったと思います。数学が得意で東大に行ってロケットを飛ばすことを目標にしていたのですが、難易度の高い受験数学で行き詰まりを感じていました。そこで読んだのがこの本です。

それまで論理的思考のみが正統な方法だと思って取り組んでいましたが、そこに書かれた内容は、物事は様々な視点から取り組まないと、問題は解決に向かわない、ということで、論理的分析的な垂直思考に対して、水平思考と呼ぶ、という紹介でした。

その後、成績は向上しましたが、同時に進路についても様々な視点から自分のやるべきことを見直し、医学部に変更した、ということが私の人生の最大の分岐点になりました。

そして今、様々な患者さんの病状を診ていく立場ですが、教科書的思考では解決できない事だけです。脳神経の回路は複雑で、更に内臓や四肢末端に至るあらゆる所に張り巡らされた神経網は、少しの刺激で様々な反応を引き起こします。医学的な検査や治療だけでは、これを管理することはできません。その方の社会的心理的背景や日々の生活、食事などの影響なども考慮して検討する必要があります。

私自身も、手術のできる心身であるために、様々な観点からの自己管理を行っています。一つにこだわりすぎると悩みになりますが、多角的に捉えると問題解決に向かって進む勇気が湧いてきます。

